

# 中国語教育学会会報

第 18 号（通巻 43 号） 2006 年 9 月 15 日発行

〒562-8558

大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1

大阪外国語大学中国語学研究室内

中国語教育学会

HP <http://www.jacle.org/>

Email [ch\\_teaching@yahoo.co.jp](mailto:ch_teaching@yahoo.co.jp)

郵便振替口座 00110-1-191152

## 目次

- (1) 学会誌『中国語教育（第 5 号）』原稿募集
- (2) 平成 18 年度（高等学校）中国語担当教員研修報告  
吉林大学……水口景子  
北九州市立大学……堀地明  
桜美林大学孔子学院……和田満  
大阪外国語大学……山崎直樹  
首届“汉语教师短期培训班”……中国驻大阪总领事馆教育室
- (3) 2006 年高等学校中国語教育研究会全国大会報告……藤井達也
- (4) 《日本中国語教育學會會員來台華語文研習》について
- (5) 新規会員紹介その他
- (6) 研究会・講演会・シンポジウム・コンクールのお知らせ

## (1) 学会誌『中国語教育（第 5 号）』原稿募集

学会誌『中国語教育（第 5 号）』は来春 3 月末に刊行の予定です。応募原稿は日本語・英語・中国語によるものとし、400 字詰め原稿用紙換算で 50 枚（20,000 字）以内、内容は中国語教育に関係する研究論文や資料とし、中国語教育の現場での実践報告、調査報告や書評等も受け付けます。投稿は委嘱原稿以外、それぞれ理事複数名の査読によって採否を決定します。投稿受付締め切りは 2006 年 12 月 11 日（月）必着とします。上記事務局宛に郵送または宅配便で送付してください。

なお、「投稿規定」及び「執筆要領」はホームページもしくは『中国語教育』のバックナンバーを参照してください。応募資格は、投稿時点における本会会員に限ります。

## (2) 平成 18 年度（高等学校）中国語担当教員研修報告

今夏、中国（吉林大学）及び日本（北九州市立大学、桜美林大学孔子学院、大阪外国語大学）の 4 会場において高等学校中国語担当教員研修が開催され、延べ 100 人以上の参加がありました。また、大阪では首届“汉语教师短期培训班”が開催され 40 名の参加がありました。高大連携そして教員の養成や再研修が今後より一層注目されそうです。

本会報では各研修会についての報告を掲載いたします。お忙しい中、原稿をお寄せくださった皆様にお礼申し上げます。

## 平成 18 年度高等学校中国語担当教員研修

### 国際文化フォーラム 水口景子

2002 年 12 月、第 2 次日中教育交流計画の一環として、中国教育部と文部科学省の主催で高校の中国語教員の短期中国研修を実施することが決定しました。国際文化フォーラム（以下 TJF）は、共催団体として、カリキュラムの作成、広報、事前研修の企画などを担当しています。5 ヶ年計画で始まった中国語担当の教諭と常勤講師を対象とした中国短期研修は、今年で 3 回目を迎え、延べ 60 名の高校中国語担当教師が研修に参加したことになります。

研修のカリキュラムは、日本語を母語とする高校中国語教師の要望に応え、主任講師である吉林大学の劉富華教授と協議を重ねながら作成しています。この研修の目玉ともいえるのが、マンツーマンの発音矯正とディベートの授業です。発音矯正は、一人ひとりに課題（中国語の詩と文章）を与え、発音を直していきます。期間中 4 回の発音矯正の授業に加え、ほとんどの人が吉林大学国際交流学院の大学院生に家庭教師をお願いし、より正確な発音をできることをめざしました。研修最終日の朗読発表会では、教室内に美しい中国語が響き、講師からも盛大な拍手が送られました。

ディベートの授業は、中国語の表現力を高めることが目的ですが、毎回賛成派と反対派のグループを抽選で決め、グループごとに論点を練り上げる作業を行うことを通じて、研修生同士の相互理解が深まりました。今回は、教育に競争原理を導入すべきか、割り勘の是非、順境と逆境いずれが人材を輩出するか、年賀状は廃止すべきか、というテーマを巡って熱い議論が繰り広げられました。

教室での講義以外にも、研修生の中国理解を深めることを目的としたプログラムも実施しています。その一つが、長春市第 8 高校の日本語授業見学です。授業が終わった後、日本語を学んでいる高校生たちと話ができたり、学校内を見学できたことも大きな収穫でした。また、今年は中国人の家庭訪問も実施しました。

18 日間の長春滞在中の週末は、自由行動日になっていましたが、研修生の多くがハルビンに行き、731 部隊記念館を訪れました。長春の歴史についての講義を受けた後、中国最後の皇帝である溥儀が生活した「偽宮」も見学しました。日中の近現代史を考えるうえで重要な地である旧満州国の長春市で、高校中国語教師の研修を実施することの意味をあらためて考えさせられました。

#### ■ 平成18年度高等学校中国語担当教員研修

期間：2006年7月23日(日)～8月14日(月)／会場：吉林大学（吉林省長春市）、北京

主催：中国教育部、日本文部科学省、中国漢語国際推广領導小組弁公室、TJF

講師：吉林大学の中国語教育専門家8名、吉林大学大学院生2名（助手）

研修生：14道府県より高校中国語教員20名

研修内容：発音指導、文法指導、コミュニケーション表現、発音矯正、ディベート、作文指導、朗読指導、交流時よく使う表現、中国語の新語状況、視聴覚授業指導、文化活動（長春の歴史の講義、日本語授業見学、京劇についての講義）

長春で行われる研修の対象は教諭と常勤講師となっています。非常勤講師を含めより多くの教師が参加できる研修を実施しようと、昨年大阪外国語大学と国内研修を共催しましたが、今年は、北九州市立大学、桜美林大学孔子学院、大阪外国語大学の各大学と共催して、九州、東京、大阪の3会場で研修を実施しました。長春研修を含めた4会場あわせると、延べ約100名の高校中国語担当教員が研修に参加したことになります。

中国と国内の研修の内容を連動させるべく、東京と大阪の研修には、中国国家漢語国際普及指導グループ弁公室（中国国家汉语国际推广领导小组办公室：国家汉办）にお願いして、吉林大学から3名講師を派遣してもらうことができました。

## 2006年北九州市立大学高校中国語教員研修に取り組んで

北九州市立大学外国語学部 堀地明

2006年8月10日より12日の3日間、国際文化フォーラムとの共催で北九州市立大学において、高校の教員を対象とした研修が開催された。募集人員は20人、応募者20人、19人の実参加であった。北海道・静岡県・兵庫県等、九州地域以外からの参加もあり、主催者としては望外の喜びである。20人の応募申込みはかなり厳しいのではないかと危惧していたので、何とか20人の申込者があり、ほっと一安心であった。

高校の教員を対象とした中国語の研修は、1946年に小倉外事専門学校として中国語教育課程が誕生し、公立大学法人北九州市立大学と校名が変更されるまでの、本学中国語教育課程60年の歴史上初めてのことである。本研修を開催するにいたった契機は、2004年3月に福岡県内の高校で中国語教育に携わってこられた教諭が来校し、高校教員を対象とした中国語教員免許状取得のための講座開講を熱心に要請されたことである。免許講座は実現できなかったが、高校教員を対象とした研修ならば可能ではないかと思い、山口・九州・沖縄地区の高校教員との話し合いを重ね、ようやく開催の運びとなった。

開催目的は下記の4点である。①中国語運用能力の向上をはかり、中国語授業の展開に必要な中国理解を深める②中国語教授法の向上をはかる③高校中国語担当教員のネットワークの強化をはかる④北九州市立大学と高校中国語教員との高大連携を形成・強化する。講座の授業時間数は90分を1コマとして計8コマ、内容は①中国語文法レベルアップ(2コマ)・中国語音声学の基礎(2コマ)・発音強化と発音教授法(2コマ)・中国事情(1コマ)・研究授業(1コマ)の5分野である。5分野の内、4分野を本学外国語学部中国語専攻の教員が担当し、研究授業は高校で教鞭をとっていらっしゃる教員にお願いした。

受講者からのアンケート調査結果によると、「満足」「やや満足」の回答が83%であること、参加者19名中12名が次年度の開催を希望していることから、概ね研修は成功したと認識している。しかしながら、今回は初めての取り組みであり、主催者側にも不足の点があった。講座を担当した大学教員は、高校中国語教育の教科内容と現場の教員の抱える課題を十分認識しておらず、十分高校教員側の要望に応えきれなかった。もとより、今回の研修は開端であって完成や終点ではない。研修を通じて形成された高大連携のネットワークをより確実なものに広げ、九州沖縄地区で最も長い歴史を有する中国語教育機関として高校中国語教育の発展に少しでも貢献できるよう今後とも可能な事業を企画してゆきたい。

## 2006年桜美林大学孔子学院夏季高校中国語教師研修会報告

桜美林大学孔子学院事務室 和田満

2006年8月12日（土）～16日（水）、5日間の日程で桜美林大学淵野辺キャンパスにおいて開催。研修会は中国国家漢語国際推广領導小組の支援（吉林大学の対外漢語教育専門の講師派遣）および高等学校中国語教育研究会の協力をはじめ、講座を担当された高校・大学の中国語教育関係者により実施された。この高校中国語教師研修会は、昨年まで大阪外国語大学のみでの開催であったが、関東圏での開催要望もあったことから、財団法人国際文化フォーラムとの共催で実現したものである。

開催期間中は不安定で蒸し暑いあいにくの天気の中、またお盆休みという期間でありながらも、受講登録者28名が朝の9時から午後4時過ぎまで、熱心に授業に耳を傾けていた。とくに吉林大学講師3名による講座は、中国での漢語教育専門家からみた“日本語話者の習得しにくい発音や指導法、間違いやすい文法項目”など具体性のある内容であっただけに、参加者のメモをとる手も休まらないようであった。

桜美林大学孔子学院としてはじめての開催であり、手探りの中での実施であったが、次年度開催にむけてよりよい研修となるようにとの観点からアンケートをとったので以下に紹介する。

2006年夏季高等学校中国語教員研修

主催：桜美林大学孔子学院・国際文化フォーラム

場所：桜美林大学淵野辺キャンパス(PFC)

	1限 (9:00～10:30)	2限 (10:40～12:10)	3限 (13:00～14:30)	4限 (14:40～16:10)
8/12 (土)	中国語の音声発音のメカニズムから  多田 恵	外国語の教え方—英語教育の現場から—  Li,Lisa Y.H. (中国語で講義)	日中社会文化の比較 (1)  光田 明正	日中社会文化の比較 (2)  光田 明正
8/13 (日)	日本人にとって難しい発音の訓練A  吉林大学派遣講師 李 軼	日本人が間違えやすい文法項目A  吉林大学派遣講師 黄玉花	中国語の教え方 認知と実践(1)  李 貞愛	中国語の教え方 認知と実践(2)  李 貞愛
8/14 (月)	日本人が間違えやすい文法項目B  吉林大学派遣講師 黄玉花	日本人にとって難しい発音の訓練B  吉林大学派遣講師 李 軼	高校中国語教育の学習目標と学習内容(1)  藤井 達也	高校中国語教育の学習目標と学習内容(2)  藤井 達也
8/15 (火)	朗読訓練  吉林大学派遣講師 李 軼	交流表現  吉林大学派遣講師 劉 富華	これだけは知っておきたい文法(1)  楊 光俊	これだけは知っておきたい文法(2)  楊 光俊
8/16 (水)	日本人が間違えやすい文法項目C  吉林大学派遣講師 黄玉花	中国語の新語の状況  吉林大学派遣講師 劉 富華	カリキュラムと授業運営 グループワーク(1)  楊 光俊	カリキュラムと授業運営 グループワーク(2)  楊 光俊

### 時期(8/12～/16)：

相当／お盆期間でよかった／お盆をはずして欲しい／もう少し早い時期でもよい など

### 内容・改善点等：

文法・発音から文化理解にいたるまで幅広く勉強になった／演習形式を取り入れて欲しい／発音指導を増やして欲しい／参加者のコミュニケーションの場を増やして欲しい／高校の漢文の教科書に関連した講座もプログラムにあって欲しい・“論語や漢詩・故事成語など” など

### 宿泊施設について：

貸し布団代以外無料であったのは好い／寮を活用できるとよかった／掃除などのメンテナンスがされてない箇所があった など以上がアンケート内容の概要である。アンケート結果を踏まえ、

次年度は本年度以上に満足度の高い研修となるよう尽力したい。

最終日前15日の講義終了後は受講者・吉林大学の講師をはじめ、本研修会の各講師を交えての懇親会を行い、中国の大学、日本の大学、そして日本の高等学校と異なる場所で中国語を教えている者が交流し、親睦を深めることができた。

桜美林大学孔子学院はミッションとして中国語・中国文化の普及を掲げていることから、今後も外国語としての中国語教授法のスキルアップ、中国語の運用能力の向上、中国語学の知識理解、中国語の授業に必要な中国理解、中国語授業の活用方法について中国語学研究者等とともに考え、これからの中国語学習者ならびに中国語教育者へ微力ながらも貢献していきたい。

## 大阪外国語大学高校中国語担当教員講座の報告

大阪外国語大学 山崎直樹

一昨年この誌面(会報第12号、2004年10月)でも報告したように、大阪外大では、2001-2004年のあいだ、夏期集中で、教員免許法認定公開講座(中国語)を開設した。中国語の教員免許取得に必要な単位のうち、教科に関する科目の単位を供給する講座である。

2004年にこの講座が終了し、後はどうなったかということ、簡単にいえば、「似たようなことをやっている」ということになる。2005年から始まり、今年で第2回を終了した「高校中国語担当教員講座」である。これは単位を出さない公開講座で、5日間にわたり、90分の授業を20コマ開く。高校で中国語教育に携わる(「予定」も含む)教員に研修の機会を提供し、同業者同士のネットワークづくりに貢献する、というのがこの講座の趣旨である(この趣旨は前身の講座でも掲げられていた)。

変わったのは、新しい講座は大阪外大地域連携室の正式事業となり、大学側からこれまで以上のサポートを受けられるようになったことである。おかげで、事務手続きはシステムチックかつスムーズになり、大学の職員用の宿泊施設を、受講者用に提供できるようになった(木賃宿並みの安さで泊まれる)。

また、前身の講座の時代から一貫して外大の教師研修を支援してくれていたTJF(国際文化フォーラム)と「共催」という形で講座を開けるようになった(実情は、「共催:TJF」というより「黒幕:TJF」というクレジットのほうがふさわしいのだが)。

最大の変化は、そのTJFの尽力と奔走のおかげで、前身の講座にない新しいコンテンツを提供できるようになったことだろう。毎年、吉林大学で行われている中国語教員研修(これもTJFが深く関わっている)において講師を担当した中国の対外漢語教学の専門家を日本に招聘し、大阪外大の講座に(2006年からは、他の大学の講座にも)出講してもらうことが可能になったのだ。

この講座は、今夏、2回目を終了したが、今年は昨年になく小さな変化もあった。そして、その小さな変化は今後の方向性についていろいろ考えさせてくれた(以下は、関係者の合意をとりつけていない私案も混じっている)。

前身の講座の時代からずっと、講師は、大阪外大の専任教員か、日頃、大阪外大に来てもらっている非常勤講師のかたに委嘱してきた(そのほうが手続きが簡単なのだ)。しかし、

今年、「授業のテーマにふさわしいエキスパートを」という方針のもと、神戸市外大、富山大学、伊奈学園高校などから、講師に来ていただいた。今後はこの方針を拡大し、京阪神各地の大学に協力を依頼し、一大学内の授業ではとうてい望めないような高水準の研修プログラムを目指したいと考えている。

また、2006年度からは、桜美林大学孔子学院、北九州市立大学、在大阪中国総領事館などの主催による中国語教員研修も開かれるようになった。これは実にありがたい。なぜなら、大阪外大の講座が唯一の研修ではなくなるわけで、これからはあまり硬く考えず、少しは遊びやシャレの入った企画をやってもいいのではないか、と思えるからである。

### 首届“汉语教师短期培训班”在大阪成功举办 中国驻大阪总领事馆教育室

根据国家汉办“请进来，走出去”的方针，为帮助西日本地区大、中学汉语教师提高汉语教学水平，进一步增强他们对中国文化的了解，促进中外汉语教学的交流与合作，中国驻大阪总领事馆教育室与四天王寺国际佛教大学合作（后援：财团法人四天王寺学园），于8月6日至8月10日，在大阪成功举办了首届“汉语教师短期培训班”。

来自领区内大、中学校的40名汉语教师参加了培训。中国国家汉语国际推广领导小组办公室特地派遣两名汉语教学方面的专家（吉林大学的黄玉花老师和李轶老师）为参训学员授课。8月6日上午培训班开课并举行了开讲式。四天王寺国际佛教大学的理事长和校长都出席了开讲式。总领馆教育室孙建明领事和四天王寺国际佛教大学理事长森田俊朗在开讲式上致辞，勉励学员们要克服困难，认真听讲，通过短期培训，真正有所收获。

8月10日下午举行了由教育室游衣明领事及两位授课教师参加的座谈会，充分听取了参训学员们的意见，并进行面对面的交流。座谈会后，举行了一个简短的结业式。孙建明领事代表国家汉办向学员们颁发了《培训证书》并致词。他对学员们冒着酷暑顶着烈日来上课所表现出的认真态度给予了积极评价，并希望学员们在今后的汉语教学工作中发挥好传播中国文化的桥梁作用。学员代表张轶欧也在结业式上发言，感谢国家汉办、培训班中、日双方合作单位为学员们提供了一次难得的学习机会，并说，这次培训时间虽短，但内容丰富，两位专家的授课非常认真，也很精彩。很多学员都是第一次系统地接受这样的培训。希望今后还能有这样的学习机会。

### （3）2006年高等学校中国語教育研究会全国大会報告

高等学校中国語研究会代表理事・埼玉県立伊奈学園総合高等学校 藤井達也

2006年6月17日（土）18日（日）、大阪府関西大学千里山キャンパスで関西支部の運営により開催された。主催：高等学校中国語研究会。後援：文部科学省・大阪府・大阪市および吹田市教育委員会ほか。参加者は全国から約140名。テーマは「高校中国語教育が目指すもの～高大連携の可能性～」。

17日は開会式の後、大会テーマに沿ってパネルディスカッションが行われた（パネリスト 姫路獨協大学 奥田寛・大阪外国語大学 山崎直樹・関西高等学校 石下景教・北海道札幌丘珠高等学校 佐藤英三子）。高校・大学それぞれの現場から多くの問題が提起された。教育課程の連携などこの数年検討されはじめたいいくつかの問題を高校と大学の中国語教育関係者の共通認識とすることができ、今後議論の継続が必要であることが確認できたと思われる。交流の拡大や情報交換の恒常化が望まれる。その後、ビデオによる研究授業が①入門段階のネイティブ教員の授業（沖縄県立裏添商業高等学校 吉本霞）・②1年目2単位3学期の授業（大阪市立西高等学校 鬼頭今日子）・③単位数の多い学校の授業（埼玉県立伊奈学園総合高等学校 藤井達也）・④ティームティーチングによる授業（長谷川聡子・葛麗）の五つに分かれて授業の特色ごとに発表され、各会場では活発な意見交換が行われた。

18日はテーマ別に分科会が開かれた。参加申し込みにあった多数の要望を生かし時間を2コマ（1コマ=55分）に分け、二つの分科会に参加できるようにした。それぞれのテーマは次の通り：A「授業導入のヒント」（東邦高等学校 佐野良昭）；B「音声指導」（関西大学 日下恒夫）；C「オンライン教材」（関西大学大学院生 氷野義寛）；D「初級教材」（大阪府立柴島高等学校 千場由美子）；E「文法指導」（吉林大学国際交流学院教授 劉富華）。

当研究会は、1982年に設立され1986以降は毎年全国大会を実施している。来年も大阪で開催の予定。会報は第15号まで発行。事務局は国際文化フォーラム（Tel:03-5322-5211 担当：水口）。全国8地区の支部活動への参加を歓迎します。

#### （4）《日本中国語教育學會會員來台華語文研習》について

世界華語文教育学会（台湾、<http://www.wcla.org.tw/default.htm>）から学会事務局に来春開催予定の《日本中国語教育學會會員來台華語文研習》について情報が入りました。2007年3～4月に約2週間台湾に滞在し、前半は台北で研修を受け、後半は台湾各地の大学を訪問交流するという計画です。宿泊費、講座費、学費は台湾教育部が支給し、交通費（往復航空旅費、台湾での移動）と生活費は参加者負担で、20名の募集を行なう予定です。詳細が決まり次第、ホームページ及び会報でお知らせしますので、ご注目下さい。

#### （5）新規会員紹介その他

新規会員氏名（敬称略）2006年5月以降の入会者27名。現在の会員総数は374名です。

内田 慶市	大西 智之	岡 益巳	奥村佳代子	葛 婧	金子 真生
玄 幸子	謝 韞	焦 世文	章 天明	須田美知子	須藤 秀樹
武井 満幹	田中 洋子	沼田 薫子	能勢 梅子	長谷川 賢	氷野 善寛
文 楚雄	三野 園子	毛 俊東	吉田 慶子	吉田 泰謙	李 偉
李 秀雲	渡邊奈津子	比拉勒 伊力亞司			

住所不明会員（敬称略）下記会員について住所・所属先等をご存知の方は事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

上江 洲基	許 燕	呂 紅梅	李 春	児玉 啓子	酒井 美希
趙 慶堯	戸田 聖子	三輪 典嗣	本林 教衡	渡邊ゆきこ	

## (6) 研究会・講演会・シンポジウム・コンクールのお知らせ

### 【次回、関東地区 10 月研究会のご案内】

- 日時：10 月 7 日（土）午後 2 時より
- 場所：東京外国語大学 研究講義棟 105 教室
- 発表者と題目：
  - (1) 山根 史子（東京外国語大学大学院博士後期課程）  
「因果関係を表す“得”構文の例文提示に関する一考察」
  - (2) 須藤 秀樹（東京外国語大学大学院博士後期課程）  
「動詞重畳形“V 了 V”について」
  - (3) 三宅 登之（東京外国語大学）  
「初級段階における方位詞の提示範囲」

### 【今後の研究会・講演会の予定】

- 関西地区 11 月講演会  
講演：北京语言大学校长 崔希亮教授  
日時：11 月 11 日（土）予定  
会場：未定
- 関西地区 11 月研究会  
日時：11 月 23 日（木・祝）  
発表者募集中、希望者は学会事務局（ch\_teaching@yahoo.co.jp）まで
- 関東地区 12 月研究会  
日時：12 月 9 日（土）
- 関東地区 1 月研究会  
日時：2007 年 1 月 13 日（土）  
発表者募集中、希望者は東京外国語大学三宅登之研究室  
（〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1）まで
- 関西地区 1 月研究会  
講演：南开大学汉语语言文化学院院长 石锋教授  
日時：2007 年 1 月 27 日（土）予定  
会場：未定

### 【その他のシンポジウムやコンクールなど】

- 日本国内孔子学院 5 校による第 1 回公開シンポジウム  
日時：2006 年 11 月 25 日（土）14～17 時  
会場／主催：立命館孔子学院  
(<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/cc/confucius/>)  
共催：桜美林大学孔子学院、愛知大学孔子学院、北陸大学孔子学院、  
札幌大学孔子学院  
テーマ：グローバル時代における言語と文化  
－中国語教育と孔子学院の役割
- 世界优秀汉语教材(TCSL)评选活动  
主办单位：国家汉语国际推广领导小组办公室教学处  
HP [http://www.tcs12006.com/tcs1\\_cn/index\\_cn.asp](http://www.tcs12006.com/tcs1_cn/index_cn.asp)

☆ 最新情報はホームページにおいて随時掲載しますので、ご覧ください。  
★ また、中国語教育・研究に関わる催しがあれば、事務局にお知らせください。学会ホームページに掲載いたします。